

131 昭和時代 1955年体制へ

1946.5 極東国際軍事裁判(第一次吉田内閣)

A級戦犯…戦争犯罪類型A項。平和に対する罪。

東京で裁判。戦争指導者。7名死刑。

B級戦犯…戦争犯罪類型B項。通常の戦争犯罪。

C級戦犯…戦争犯罪類型C項。人道に対する罪。

B C級戦犯…アジア各地で裁判。マニラ。

約5700名が裁判。うち約1000名死刑。

非戦闘員殺害… 級戦犯。ユダヤ虐殺… 級戦犯。

指導者として侵略戦争を計画… 級戦犯。

・映画『私は貝になりたい』上官の命令で捕虜を殺害した理髪店主の一等兵がBC級戦犯で死刑判決。主人公は処刑寸前にサンフランシスコ平和条約発効(52)で釈放。

・広田弘毅は南方進出(侵略)を併記した「国策の基準」によってA級戦犯として死刑。城山三郎『落日燃ゆ』

1951 日米行政協定 …米軍基地を無償提供。

1952.4.28 サンフランシスコ平和条約発効

GHQがいなくなってからわずか3日後に

1952.5.1 血のメーデー事件

(皇居前広場事件)

戦後共産党の最も大規模な武力闘争。講和発効のわずか3日後に起きました。一部の左翼団体が革命準備の実践の一環として行ったものと見られる(wikipediaより)皇居前で3万人と警察隊が衝突、民衆側、警官隊側の多くの負傷者が出ました。↓皇居前広場で警官隊と衝突しています。



1947 二・一ゼネスト中止 指令

徳田球一率いる日本共産党は2月1日にゼネラル・ストライキを起こして吉田内閣を打倒し、日本共産党と労働組合指導部による人民戦線政府樹立を目指しました。1月31日にマッカーサー司令官がゼネスト中止を指令し、共同闘争委員長の伊井弥四郎にゼネストの中止を全国にラジオで放送させました。翌日伊井はGHQによって逮捕されました

1947 新憲法下の初の総選挙で吉田敗北

片山哲 社会党内閣誕生。

→ 労働省 新設。婦人局長に 山川菊栄

1950.6 朝鮮戦争 勃発

在日米軍が朝鮮に動員されてしまったためGHQの指令で

50.7 警察予備隊 こりゃ警察!

マッカーサー「再軍備しろ」

吉田茂総理大臣「いやだ。(再軍備するカネなどあるものか。防衛は米軍をうまく使って安上がりにして、共産主義を抑える為に経済復興に全集中したいんだ)」マッカーサー「分かった。では「強い警察」を作れ。」吉田「(戦争に負けて外交で勝った歴史を作るんだ)」

50.9 レッドパージ (赤狩り)開始

GHQの指令で共産主義者の公職追放が始まりました。マスコミや民間企業からのパージも指令されました。日本映画界にもレッドパージの嵐が吹き荒れました。

50.7 GHQの後押しで反共産主義の

総評 (日本労働組合総評議会) 結成

50.9 軍国主義者の 公職追放解除

→旧陸海軍人も警察予備隊に。

1950 特需景気

朝鮮戦争を戦う在日米軍から日本に発注された物資やサービス需要による景気。特殊な事情による景気なので特需景気。

(結果)戦前の工業水準を回復。

1951 サンフランシスコ平和条約 調印

日米安全保障条約 調印

1952.7 破壊活動防止法

血のメーデー事件の勃発を受けて、「暴力的破壊活動」を行う「団体」(個人ではないです)を取り締まる法律。「暴力的破壊活動」を行う「恐れ」がある団体の活動を予防的に取り締まるもので、日本国憲法違反ではないかと当時から論議が起きました。この破壊法違反で有罪となった事件はありません。公安調査庁。

1952.8 国際通貨基金加盟→通貨安定

1952.10 警察予備隊を 保安隊 に改組

アメリカ「日本も独立したんだから防衛を強化しろ」

1954.3 第五福竜丸事件

アメリカの南太平洋のビキニ環礁での水爆事件で死亡

1954.3 MSA協定 (日米相互防衛援助協定)

反ソ・反共を目的として防衛努力をする国にはアメリカが経済援助を与えるという協定。日本は莫大な経済援助を受ける見返りとして、西側陣営の一員として防衛力の強化を義務付けられました。

1954.6 防衛二法 公布

(防衛庁設置法、自衛隊法)

こりゃ警察!

日米安保条約発効で保安隊

MS自衛隊

1954.4 教育二法 公布

義務教育学校における教員の政治教育の禁止、政治的中立の確保。

1955-57 神武景気 スタート

MSA協定による経済援助がきっかけ。



ゼネスト中止を涙ながらに説明する伊井弥四郎委員長



吉田茂

アメリカの戦闘機を日本企業の日本人労働者が修理している写真です。

